



津市長 前葉泰幸 女子レスリング55kg級 金メダリスト 吉田沙保里さん

2012年10月10日、オリンピックと世界選手権を合わせて世界大会13連覇を達成した吉田沙保里選手をお迎えし、ロンドンオリンピックや世界選手権での活躍や、ふるさと津市への思いについて、前葉泰幸市長がお話を伺いました。

オリンピック3連覇
そして世界選手権へ

市長 オリンピックは、かなり緊張されたと同じでしたが。

吉田 はい。これまでに



一番緊張しました。試合の前
の夜は全然眠れなくて、大変
でしたね。

市長 これまで数々の試合を経
験された吉田選手でも、オリ
ンピックは特別なんですね。

吉田 4年に1度、世界中が注
目する大きなイベントです
し、私にとっても特別な大
会です。

市長 この大会
で、見事3連
覇を達成され
た吉田選手の
力強さ、粘り
強さ、ぶれな
い心に感動し
ました。

吉田 皆さんに期待されること
は、とてもうれしいですし、
自分も金メダルしかないと心
に決めて大会に挑みました。

市長 そして、オリンピック後、
2カ月足らずで行われた世界
選手権。モチベーションをキ
ープするのは大変だったでし
ょうね。

吉田 カレリン選手が持つ世界
大会12連覇の記録を抜くこと
が自分の目標でしたので、絶
対に優勝すると決めていまし
た。オリンピックの後は時間
が取れず、思うように練習で
きなかったのですが、試合直
前の合宿で集中することがで
き、気持ちや体を、いつもの
良い状態に戻すことができました。

世界大会13連覇達成

市長 その世界選手権でも、見
事優勝し、前人未到の世界大
会13連覇を達成され、世界中
の人を驚かせました。カレリ
ン選手からもお祝いのメッセ
ージが届いたと聞きましたが。

吉田 はい。まさかカレリン選
手から祝福のメッセージが届
くとは思ってなかったのです
ごくうれしかったですね。

市長 カレリン選手とは、お会
いしたことはあるのですか。

吉田 これまでに一度だけ対談
をしたことがあります。ロン
ドンオリンピックの時にも励
ましの言葉をもらいましたし、
目標にしていた人なので、す
ごく光栄に思います。



「サオリーナ」という名称を書いたボードを持つ吉田選手

市長 さて、吉田選手にはオリ
ンピック3連覇を達成された
際、平成28年4月にオープン
予定の「(仮称)津市産業・ス
ポーツセンター」を吉田選手
にちなんだ名称にとお願いし
ましたが、お決めいただきましたか。

吉田 はい。「サオリーナ」に
決めました。

吉田沙保里 (津市一志町出身)

昭和57(1982)年生まれ。一志中学校、久居高校、中京女子大学(現・至学館大学)卒業。現在、ALSOK所属。レスリング全日本選手権で優勝経験のある父の指導を受け、3歳からレスリングを始める。女子レスリング55kg級で、オリンピック3連覇、世界選手権10連覇を合わせて、世界大会13連覇を達成。昨年11月7日には国民栄誉賞を受賞。

◆お知らせ◆
市長対談は、津市ホームページ・市長の部屋の市長対談でもご覧いただけます。 [HP 津市](#) [市長対談](#) [検索](#)

吉田 津市民の皆さんの応援が私の力の源。新たな目標に向かってこれからも全力で頑張ります。

市長 吉田選手の名前「さおり」とアリーナを合わせていただいたんですね。

吉田 分かりやすいかなと思ひまして。

市長 決めていただいた名称をもとに、これから手続きを行っていきたく思います。吉田選手の偉業を後世に伝え、津市民の誇りとなるようなスポーツ施設にしていきたいと考えています。

吉田 ありがとうございます。

地元一志町、そして津市への思い

市長 ここから8月28日の凱旋パレードのお話を少し伺います。パレードは、一志町のご自宅からスタートされたわけですが、朝早くからたくさんの地元の方が集まったとお聞きしましたが。

吉田 はい。自宅の前に、本当にたくさんの近所の人たちが集まってくれて、びっくりしました。

市長 一志町でのパレードそして報告会には、およそ5,000人が集まり、とても盛況でしたね。やはり、地元はいいですか。

吉田 そうですね。一番落ち着きますね。私にとって自慢できる津市なので、ここで生まれ育って良かったな

と思います。

市長 津市民の皆さんは、世界で活躍する選手が津市出身だということを、うれしく、そして誇らしく感じています。

吉田 ありがとうございます。本当に皆さんの応援が私の力になっています。地元津市の皆さんはもちろん、全国の皆さんにも応援していただいているので、次の目標に向かってますます頑張っていこうと思っています。



祝勝会では、一志ジュニアレスリング教室の子どもたちとガッツポーズ

市長 津市民一同、吉田選手の今後の活躍を願っています。新たな目標に向かって、これからもぜひ頑張ってください。今日は、ありがとうございます。

